

番所鼻自然公園とタツノオトシゴハウス

かつてここにあった番所にちなんで名付けられた番所鼻自然公園は、重要な史跡でもある自然公園です。地図製作者・測量士の伊能忠敬（1745～1818）は、かつて日本で最初の包括的な全国地図を作成するための測量旅行中にこの公園に立ち寄った際、この場所の眺めを「天下の絶景」と評しました。展望台からは、伊能忠敬が眺めたのと同じ開聞岳のパノラマを楽しむことができます。公園には、釜蓋神社に続いている2.5 kmの海岸線沿いの自然歩道を含む多くのウォーキングコースがあります。近くのタツノオトシゴハウスは、この愛らしい海の生き物を保護するために建てられたカラフルな博物館とカフェです。タツノオトシゴは夫婦円満のシンボルとされています。